

平成30年度 島根県における女性医師支援の取り組み

島根県医師会男女共同参画委員会 委員

島根大学医学部地域医療支援学 准教授, えんネット（医師復職支援）窓口担当

社団法人しまね地域医療支援センター 専任医師

島根大学医学部附属病院院内感染対策チーム リーダー, 耳鼻咽喉科専門医

佐野 千晶

島根県における女性医師

2017年 島根県 勤務医師実態調査 51病院 40公立診療所

●常勤医師で女性医師の割合 19.8% (前年比 0.8%) 225/1138人

この内 20~40歳代 83.1% 187/225人

参考：2016年 厚生労働統計 女性医師割合 21.1%

2018年 島根大学医学部医学科 女子学生割合

41.2% 281/682人

島根県内医療機関におけるWLBの取り組み

51 施設 (43一般病院, 8精神科病院)

(2017年調べ)

- 県内33病院 日直や宿直免除
- 県内16病院 時間外勤務軽減
- 県内20病院 院内保育所
- 県内13病院 24時間保育

2018年 島根大学医学部附属病院敷地内 学童保育施設開設

「キッズクラブ太陽」



島根県医師会男女共同参画フォーラム

－医学生、研修医等をサポートするための会－

日 時 平成30年3月1日(木) 9:40~15:45

会 場 島根大学医学部臨床大講堂

主 催 島根大学医学部地域医療支援学講座、島根県医師会

共 催 日本医師会、島根大学男女共同参画推進室、島根大学医学部附属病院WLB支援室

対 象 島根大学医学部4年生

プログラム 1. キャリアについて考える

①グループワーク 発表・討論

②キャリアモデルの紹介

2. 島根大学男女共同参画の取り組み

3. 島根県「えんネット」の取り組み

4. 講演「男性学の視点から男性の仕事中心の生き方を見直す」

大正大学心理社会学部人間科学科准教授 田中 俊之氏

平成30年度予定：平成31年2月28日（木）

島根大学医学部との懇談会

開催日 平成30年3月1日

場 所 島根大学医学部みらい棟みらいラウンジ

参加者 15名

医学部生 3名 (男子2名 女子1名)

女性医師 6名



ワークライフバランスについての交流会（年2回）えんネット交流会



託児付き

子供連れて参加する女性医療職 学生も参加

(事実上の女性医師の働き方工夫情報交換会)

ランチョンセミナー（月1回） 多様な女性医師ロールモデル



女子学生との面談　相談（適宜）

- ・島根大学 学生相談室
保健管理センターと連携
精神科医師
心理カウンセラー 2名
- ・相談内容（医学生といえども、普通の学生）
将来への不安やとまどい
キャリア選択
学業
衣食住 病気
恋愛



復職支援等 相談窓口

えんネット



一般社団法人しまね地域医療支援センターから委託をうけ、
島根大学医学部地域医療支援学講座内に設立された、島根県内に勤務している医師の
キャリアと生活の両立を支援する窓口です。

2017年は、島根県医師会の先生のご施設で、育児中の女性医師が本人が希望するスキルアップ研修を行うことが出来ました！

（大学病院では、研修医や学生が沢山いて、復職スキルアップは難しい。）

協力団体

島根県医師会(生涯学習事業)

しまね地域医療支援センター、島根県医療従事者無料職業紹介所（赤ひげバンク）

自治体の女性相談センター、

島根大学医学部同窓会（萌雲会）

島根大学：男女共同参画推進室、ハラスメント相談窓口、保健管理センター（専任心理カウンセラー）、
生涯学習推進センター

島根大学医学部附属病院：ワークライフバランス推進室、院内保育所、スキルアップセンター

えんネットマガジン（年1回）

3500部

女性医師の活躍を特集



これまでの取材協力施設
邑智病院
隠岐病院
松江赤十字病院

出雲市総合医療センター
島根大学医学部附属病院

ワークライフバランス(WLB)セミナーの開催



講師紹介

島津 明人 先生

北里大学 一般教育部人間科学教育センター 教授

【経歴】

2017年4月 - 現在 北里大学 一般教育部人間科学教育センター 教授
2014年4月 - 現在 南オーストラリア大学 客員准教授
2006年10月 - 2017年3月 東京大学 大学院医学系研究科精神保健学分野 准教授
2003年1月 - 2007年3月 広島大学 大学院教育学研究科心理学講座 助教授
2005年3月 - 2006年3月 ユトレヒト大学 社会科学部社会・組織心理学科 客員研究員
2001年3月 - 2003年4月 広島大学 大学院教育学研究科心理学講座 講師
1999年4月 - 2001年3月 早稲田大学 文学部心理学教室 助手



- ・ワークライフバランスとは
WLBが必要な背景
- ・産業保健におけるWLB
考え方と先行研究の紹介
- ・余暇の使い方、コーピング など

医療の領域でも活かせる内容
学外の医療職へ参加募集



Future Plan

- ・今までの取り組みの継続
- ・医師の働き方検討委員会答申
H30年4月 日本医師会

医師の働き方改革

医師の働き方について、島根県においても課題抽出・改善

- ・WLBの推進
サンドイッチ世代 ダブルケア世代への支援
ワーク・エンゲージメント
- ・女性医師の活躍のために
- ・WLB 学生、医師の意識調査
- ・バーンアウト、ボアアウトの防止

ご清聴ありがとうございました。 9